

報道関係各位

平成 23 年 6 月 8 日

**タカラトミーグループが始めます！！玩具に環境ラベルを導入
『エコトイ』活動はじめました**

～おもちゃで子どもたちの環境への気づきをお手伝い～

株式会社タカラトミー

株式会社タカラトミー（代表取締役社長：富山幹太郎）は、2011年6月より、環境への取り組みとして「エコトイ」活動を開始いたします。

環境に対する消費者の意識は年々高まりを見せています。特に未来を担う子どもたちにとっては、今年度より新学習指導要領に基づくエネルギー環境教育がさらに充実していくことから、より環境に対する関心が高まるものと予想されます。タカラトミーでは、子どもたちにとって最も身近な“おもちゃ”を通じて、子どもたちの環境に対する意識の目覚めをお手伝いしてまいります。

タカラトミーグループが提案する「エコトイ」活動では、グループ横断のメンバーによる「エコトイ」委員会を発足させ、第三者機関の助言を得ながら、玩具を作るとき、遊ぶときなど玩具のライフサイクルに応じた環境配慮の基準を設定いたします。そしてその基準を1つ以上満たした商品を「エコトイ」として認定します。「エコトイ」と認定された商品には、タカラトミーの取り組んでいる環境配慮の工夫を一目でわかりやすく示す自社基準の環境ラベル「エコトイ」マークを表示するなど、消費者の方へも分かりやすく伝えていきます（*）。

※商標登録申請中



* パッケージへのマークの表示は、2011年6月の新製品から開始いたします。
それ以前の発売商品に関しては、対象の商品をホームページ等でご案内します。

例えば、タイヤを回すことで内部の発電ユニットが作動しライトが光る「テコロジーシリーズ」や、ソーラーパワーで動く「のほほん族」は、従来であれば電池の必要な動作を電池なしで行えるという「エコトイ」基準を満たします（基準項目：省エネルギー&廃棄物削減（電池不要））。6月のスタート時は、「省資源」「省エネルギー」「省エネルギー&廃棄物削減（電池不要）」の3つの基準からスタートし、今後も研究を重ね発展させていきます。また、「エコトイ」基準には当てはまらないものについても、部品交換の工夫、パッケージに使用する樹脂の削減など、これまでと同様に積極的に取り組んでいきます。

タカラトミーグループは、1980年、目や耳の不自由な子どもたちも一緒に楽しく遊ぶおもちゃ作りに取り組み、その後「共遊玩具」の活動を日本の玩具業界をはじめ海外へと広めてまいりました。今回の環境に対する新しい取り組みもまた、業界他社に先駆けての活動となります。

「エコトイ」は子どもたちとタカラトミーグループと一緒に考え、一緒に成長していく活動です。子どもたちが、おもちゃを通して“遊んで”“学んで”“考えて”、地球の明日を見つめるはじめての一步となるよう、『100ねんあそぼ。』をキーワードとして「エコトイ」活動を発展させてまいります。

■ 「エコトイ」ホームページ

「エコトイ」の基準、商品一覧などがご覧いただけます。

<http://www.takaratomy.co.jp/eco/index.html>

■ パッケージ表示例

※2011年6月の新製品よりパッケージへの「エコトイ」マーク表示を開始。



■ 「エコトイ」マークの種類と基準 (2011年6月現在)

まずは3つの基準からスタートし、今後も随時更新していきます。

| 「エコトイ」マーク | 基準項目 | 「エコトイ」基準 | パッケージ背面説明文 |
|-----------|----------------------------|-------------------------------------|---|
| | 省資源 | 従来品と比べて、重量が削減されているが、遊びの性能が損なわれないもの。 | 原材料を少なくし、軽量化したおもちゃです。従来品に比べて、使用する資源を少なくしています。 |
| | 省エネルギー | 従来品と比べ、消費電力を削減したもの。 | 省エネルギー設計のおもちゃです。LEDを使用し、消費電力をおさえています。 |
| | 省エネルギー & 廃棄物削減(電池不要) | 従来であれば電池の必要な動作を電池なしで行えるもの。 | 電池のいらない発電するおもちゃです。電池を必要とせず、繰り返し遊べます。 |

<報道各位から本件に関するお問い合わせ先>

株式会社タカラトミー 広報室 TEL 03-5654-1548/FAX 03-5654-1648

<読者から商品に関するお問い合わせ先>

株式会社タカラトミー お客様相談室 TEL 03-5650-1031